



第 84 号

発行所

NPO法人上田市
身体障害者福祉協会
事務局 386-0012 上田中央3-5-1
上田市ふれあい福祉センター内
発行人 吾妻博夫
編集人 光りの友編集委員会
印刷 スズキ総合印刷



NPO法人上田市身体障害者福祉協会
理事長

吾妻博夫

新年あけましておめでとうございます。新しき年を迎え皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げますとともに、協会にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し心より厚く御礼申し上げます。



上田市長 土屋 陽一

あけましておめでと
うございます。

ナウイルス感染症につ
きましては、ようやく
季節性インフルエンザと同等の扱いと
なりました。

の保持増進と地域経済の活性化、競技
力向上、施設整備など、ソフト・ハード
両面から多様性を重視した市民のス
ポーツ環境の充実を図ってまいりたい
と考えております。

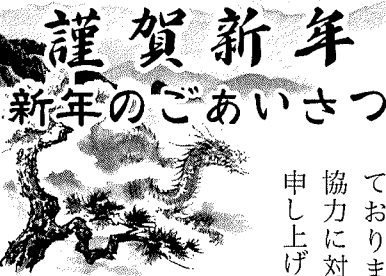
昨年終息に期待しておりました新型コロナ
ナウイルスも、変異しながら周期的に猛威を
奮い、高齢者は七回目のワクチン接種を余儀
なくされました。この様な状況下、コロナウイ
ルス対策をしながら、会員の皆様のご理解ご
支援により、活動が出来ましたことに心より
感謝申し上げます。6月4日には多くの来賓
のご臨席の中、4年ぶりに通常総会を開催す
ることが出来ました。提案しました議案も審
議検討の上可決、新役員も承認され新体制で
スタート致しました。私を含め微力でありま
すが、会員と関係機関の皆様のご支援ご協力
を頂きながら、「連携と環、親睦」の協会に向け
歩み続けてまいります。プール売店事業は7
月8日〜8月15日迄14名の会員により運営し、
僅かですが利益をあげることが出来ました。
クラブ活動は一部を除外し再開、会員の技能
向上、健康増進を図ることが出来ました。会員
家族による春の日帰り旅行、秋の一泊研修旅
行は、関係者のご協力を頂き実施。女性部交流
会、クリスマス会も感染対策の上行いました。

希望に満ちた輝かしい新春を迎え、
会員の皆様のご多幸とご健康を心から
お祈り申し上げますとともに、日ごろ
市政にお寄せいただいた
ておりますご支援、ご
協力に対し心より御礼
申し上げます。

これまで開催を見合わせてきた上小
地区のスポーツ大会などの様々な催し
物やイベントが再開され、少しずつで
はありますが、活気ある元の生活に戻
りゆく兆しに、気持ちも明るくなった
昨年でございました。

また、私たちの生活面では、天候不順
や世界情勢などの様々な要因による食
料品など身近な品々の高騰で、家計に
多大な影響が出ております。このため、
市としましては、公的な給付金支給な
ど、広く事業を展開し、市民の皆様とも
しっかりと対話しながら問題解決に向
けた施策について、責任を持って進め
てまいりたいと考えております。

現在、協会に於いては会員の高齢化、会員の
減少、多様化に拠る一般身体障がい者の会員
離れ、活動会員の減少、と多くの問題がありま
す。これらの問題に対して、会員、関係者の皆
様のご理解、ご支援、ご協力を頂きながら柔軟
に対応し、進めてまいりたいと思っております。
末筆ながら、本年が皆様にとって、健康で幸
多い年となりますよう心からご祈念申し上げ、
新年の挨拶と致します。



上田市社会福祉協議会
会長

宮之上 孝司

当会では、長野県社
会福祉協議会が取り組

私たちの生
活を一変させ、
あらゆる場
面で活動自粛の
原因となつて
いた新型コロ

あるなしに関わらず活躍する選手を応
援することで私たちも元氣になれたよ
うに思います。
上田市では、スポーツ都市宣言を予
定しており、ライフステージに応じた
スポーツ施策やスポーツを通じた健康

あわせ」です。誰もが自分らしさを大切
にすることができ、当たり前前に生活で
きる社会を作っていくことが大切です。
「あつたかい」心あふれる 協働の
まち」を行動指針に「笑顔 花咲く 上
田市社協」を目指し、一人でも多くの方
が笑顔になれる社会の実現に努めてま
います。引き続き、変わらぬ御理解と
御支援を賜りますよう、よろしくお願
い申し上げます。

未筆ながら、会員皆様のますますの御健
勝と御多幸を心から御祈念申し上げます。



謹んで、新春のお喜
びを申し上げます。

「どこでも実家」宣言に手を挙げ、社会
的養護が必要な若者のサポートプロ
ジェクトに参加しています。

また、内閣官房が令和4年2月に設
置した「孤独・孤立対策官民連携プラッ
トホーム」に入会し、コロナ禍で顕在化
した孤独・孤立の問題にも継続して対応
しております。

福祉とは「ふだんの 暮らしの し

社協会様におかれましては、日ごろか
ら福祉推進のために献身的な取組や、
社協事業に対して御理解と御支援を賜
り、深く感謝申し上げます。

さて、近年、社会のつながりがま
す希薄化するなか、孤独・孤立の問題が
より一層深刻化しています。

また、内閣官房が令和4年2月に設
置した「孤独・孤立対策官民連携プラッ
トホーム」に入会し、コロナ禍で顕在化
した孤独・孤立の問題にも継続して対応
しております。

福祉とは「ふだんの 暮らしの し

より一層深刻化しています。

福祉とは「ふだんの 暮らしの し

福祉とは「ふだんの 暮らしの し

福祉とは「ふだんの 暮らしの し

各部活動報告

総務部

部長 石井 貞一

タイトルは活動報告ですが、今回は身障協の財源についてお話しします。定期総会で毎年本会収支報告がされますが、本会一番の収入源をご存じですか。それは市内各所にある自動販売機の運営益です。毎年会費収入が減少する中、市内28カ所に設置されている身障協が運営している自販機の収益は会費収入の10倍以上にもなります。

本会の貴重な収入源になっている自販機、主な設置場所を写真で紹介致します。会員の皆様にはどこに設置されているか知って頂き、近くにお越しの際は是非ご利用ください。また、



協会の自動販売機設置場所
あいそめの湯自販機コーナー
ふれあいセンター1階(写真)
ふれあいセンター2階

- 旧市民会館前
- 市立博物館別館横
- 上田公園テニスコート横トイレ

お知らせの方にもご紹介ください。

先日の理事会に於いて、今後自販機の売上を伸ばしていくため各自販機の担当を決め、定期的に清掃点検を行うことにしました。

担当して下さる会員様、宜しくお願いします。

会計部

部長 高木 津留子

当協会は、共に交流を図りながら「生き生きと過ごせる社会」の実現を願って活動しております。ですが、ここ数年はコロナ感染の制約のため思うような活動ができませんでした。

昨年、5類に移行され「マスクは個人の判断で」という状況になり、本会でも会員旅行、交流会等を実施、夏期の塩田プール売店事業も四年ぶりに再開しました。

収支がありますが、収入の部は会員会費、助成金、事業収入が主となっており、会員減少による減額の課題がありますがプール事業再開の明るい材料があります。支出の部では、各部署業や会議の再開に伴う活動費用、紙類などの資材高騰による支出増額等が見込まれます。皆様のご協力をいただきながら、収支のバランスを保ち節約

を心がけた会計をと留意しております。

よろしくお願い致します。

厚生部

部長 西川 洋美

厚生部では、9月29日・10月20日・11月24日にマレットゴルフを行い交流しました。

また、秋の一泊旅行の話が出て、日昇旅行の滝澤さん、理事長、事務局で話し合い、4年ぶりの一泊旅行の実施が決まりました。行く先は海の見える新潟県上越の鶴の浜温泉と決まりました。

参加者は16名。当日はとても良い天気でした。ホテルに着き、午後4時45分頃に太陽が日本海に沈む光景がすばらしかったです。部屋でくつろぎ、夕食で会場へ行くと、すっかり用意されておりました。お楽しみでした。

その後のカラオケは大いに盛り上がり、翌日は朝から雨でしたが、10時ごろ出発。道



の駅「アライ」で昼食、買い物を楽しみました。

皆さん、ケガもなく無事に帰って来ました。

広報部

部長 高木 津留子

明けましておめでとうございます

辰年の新年を迎えました。十二支の中で唯一、空想上の動物が「辰」。神の使いであり世を支配する権力の象徴といわれ昇り龍などに描かれています。辰のように活気あふれる年にと祈りたいです。

広報部でも会員皆様に「手に取ってもらえる 活気ある、そして魅力ある広報誌」を今年も目指してまいります。昨年五月からコロナ感染の位置づけが変り、事業活動も安心安全に気配りしつつ進めることができるようになりました。大変喜ばしい限りです。そのイベント等の内容報告を今号はたくさんに載せてありますのでご覧ください。

これからも、記事・写真・イラストなどの工夫をし情報をお伝えして、会員皆様のつながりに役立ちますよう取り組んでまいります。皆様からのお便り、ご意見をお待ちしております。

女性部

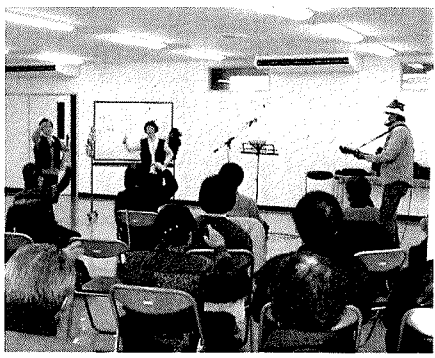
部長 百瀬 久美子

10月25日、ふれあいセンターにて口腔ケアについての研修会を開催しました。テーマは「唾液は魔法の水」、講師の歯科衛生師武田先生がいろいろな物をお持ち下さって、わかりやすく説明して下さいました。

12月8日、ふれあいセンター大会議室で恒例のクリスマス会を行いました。高木さんお近くの成沢さんのギター演奏をお聞きしたり、ご一緒に歌ったり、一時間ばかりの短かい時間でしたが、楽しく過ごしました。プレゼント、お弁当お茶、お菓子など用意しました。

二月には講演会など開催できればよいと思っております。ご希望がありましたらお聞かせください。

介護予防、健康講座、など出前講座もあります。



楽しかったクリスマス会



赤い羽街頭募金活動

神科第二支部 中曽根 孝一
去る10月7日JAフアーマー
ズ上田国分店前におきまして歳
末助け合い募金活動を10時〜12
時迄2名(高木氏)で行いまし
た。

初めての経験でしたが、気分
的には何となく(失礼な言い方
ですみません)時間が経過した
ように感じられました。来られ
る多くの方々には年配者が多く
見受けられたように感じます。
どう声をかけていいか分からず
最初はとまどいました。しかし
自然と「おはようございます」
お声がけると自然と返答もあ



りホツとし気持ちよく続けられ
ました。やはりというか多くの
方々が「自治会で寄附している
のにまたかい」という疑問符を
投げかけるかたもいらつしやい
ました。ある意味当然かな?

又小さなお子様連れの方には
風船を差し上げると当然のよう
にご両親・祖父母の方々が寄附
をして下さり子供つてやはりあ
る意味すごいなと感じました。
子供の笑顔にほほえましさを感じ
気持ちよく募金活動を終え気
持ちよく帰途につくことが出来
ました。貴重な体験をありがと
うございました。

人権を考える

市民のつどい

城下支部 西川 洋美

10月12日にサントミュージゼで
人権を考える市民のつどいがあ
りました。一人一人の人権を大
切にする事が大事だと思いまし
た。

講演会はタレントの副島淳^{すけしむじゅん}
さんが「ちがいを楽しむ」と題し
てお話しされました。日本人と
アメリカ人とのハーフの東京生
まれ。小中高校と進学していく
中で「黒人」と差別され苦しい
時を過ごされたそうです。大学
ではバスケットに打ち込み、現
在は、ドラマ、CM、バラエティ
と多方面で活動中です。
又10月23日には同じくサント



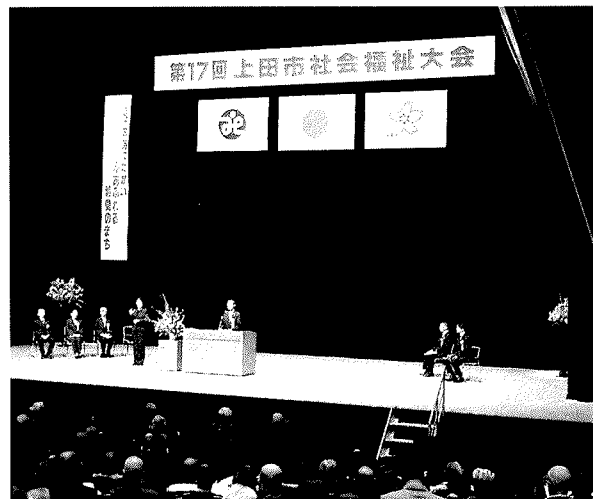
ミュージゼで社会福祉大会があり
ました。この中で各種団体の
方々の表彰がありました。あわ
せてボランティア活動をされた
方々の紹介もあり。各分野で活
動されている方が沢山おられる
と感じました。

第17回

上田市社会福祉大会

小泉支部 真保 さち子

「あつたかい 心あふれる
協働のまち」という大会テーマ



のもと上田市社会福祉大会
が開催されました。国・県・
市町村は緊急支援事業等の
対策を行ない、社会福祉協
議会は住民の笑顔あふれる
街づくりを目指し、フード
ドライブ事業など、子ども
や若者を地域で支え育む活
動を行っています。

また、社会福祉に功績の
あつた人、団体などが表彰
されました。長年自治会長
をされた方、民生委員さん、
その他の委員をされた方な
ど多数の方々が表彰されま
した。ほんとうにご苦勞様
でした。

その後、口笛コンサート
がありました。プロ奏者の
柴田晶子^{あきこ}さんの口笛は、澄
んだ音色でとてもあたたか
みがあり、数曲を
うっとりとして鑑賞し
ました。手回しオル
ゴールの音に感動。
心に刻まれました。
他にも鍵盤ハーモ
ニカの演奏もあり、
宙^{そら}先^{さき}案内^{あんない}人の高橋
真理子^{まこと}さんのお話
は、星空を見ることが
についてや、宇宙と
音楽など、軽妙な語
り口で、悠久な時間
を感じたひととき
でした。

たっ辰

両手の人差し指を
鼻の下に当てたら
シュッとヒゲが
伸びているように
左右に広げながら
前方向に
伸ばします。

みかん 蜜柑

左手は指先を
上に向け
みかんの形を作り、
みかんの皮をむくように
球面にしたがって
人差し指と親指を
短く二方向に引き下ろします。
(みかんの皮を
むく仕草をします)

牧内 智子

しゅわ 手話 コーナー

家族研修旅行に参加して 海は荒海 人生新波

東塩田支部 若山 淳子

鶴の浜温泉到着。ホテル六階の窓から見た海。あれ？ 静かな波、この海、たしか冬の日本海だよな？

海は荒海
向こうは佐渡よ
すゞめ暗け暗け
もう日は暮れた
みんな呼べ呼べ
お星さま出たぞ

北原白秋の詞(中山晋平曲)を車中で口ずさんで来たけれど、静かな波に心満たされたひとときだった。

「人見知り」「人とのつきあいが下手」と自他共に認めて過ぎてきた自分だが、今回誘われて、重い腰をあげて参加した新潟への旅だった。



「ちよつとひつこんでしま

ような夜の宴会」が始まった。それなのにいつの間にか、見とれ、聞き惚れ、のめりこんでしまつていた。参加者のほとんどの方が重荷を背負っているはずなのに、あんなに明るく、歌つて、笑つて、踊つて、楽しんでい

にこやかに話しかけ、歌つて踊つて楽しませて下さった皆様企画運営にあたって下さった役員の皆様本当にありがとうございます。

それにしても 静かな海に沈んでいく夕陽はすばらしかったなあ。今もこの目に焼きついています。

前理事長表彰式

泉田支部 石井 貞一

前理事長の堀内清氏が長年の功績により、11月11日松本市の四柱神社に於いて長野県身体障害者福祉協会理事長賞を受賞しました。

授賞式はこれまで県福祉大会の中で行われてきましたが、今年から大会が社協との共催になつたため、別会場で行われました。会場の都合により授賞式には現理事長と副理事長だけが列席しました。



堀内氏は、任期中中で急逝された井沢新一元理事長の後を受け、4期10年間の長きにわたり上田身障協の理事長を務められました。

その間、平成29年に上田市で開催された長野県身体障害者福祉大会やコロナ渦での協会運営など様々な場面で陣頭指揮を執つてリーダーシップを発揮されました。それらの業績が高く評価されて今回の表彰となりました。

堀内氏には理事長退任後も協会相談役として協会の運営にご協力を頂いています。

堀内前理事長、今までお疲れ様でした。これからも相談役として、また東部支部長としてご活躍くださる事をご期待申し上げます。

女性部 研修交流会に参加して

泉田支部 工藤 巖

□口腔ケアについて

テーマ「唾液は魔法の水」

10月25日(木)講師の先生より自己紹介があり、口腔ケアについて40年の仕事についていると、話があり、テーマが、むずかしいことばなので、しっかりと話をきこうと思ひ、私の子供のころは、指に塩をつけて歯をみがいた時代でした。テーマの口腔ケアといつても、



ピンとこないでした。しかし先生の話を聞いてみると非常に大事な話だと、真剣に心にざざみこんできました。

年をとつてくると、唾液がなくなつてくると、どうすれば唾液が出るか、両手をほつべにあてて、こする運動をするとか、ふだん聞いたことのないしぐさです。ふだん生活する上では講師の話は非常に大切なことばです。朝おきて水を一杯飲み夜も

ねる前に一杯飲む。これが大事なことだと話され、また入れ歯の人はしっかりと磨いてから洗浄液にいれ一週間に二回ぐらい入れておくのが大事といわれ、歯とお口をきれいに保つ口腔清掃、また「歯やお口の健康は口腔内細菌を減らすことが重要で

す。」ともいわれました。二時間の公演も、あつというまにすぎ、もつとおおぜいの方が参加すればよかつたと思ひ、高齢者の私

私たちは参加することが大事と感
じました。

ふつころ

フェスティバル

泉田支部 石井 貞一

これまで「長野県身体障害者
福祉大会」は、毎年県内各所を
会場として全県の身障協の代表
が一堂に会して開催されてきま
した。しかし時節柄単独開催が
難しくなってきたため社会福祉
協議会主催の「信州ふつころ
フェスティバル2023」との

共催となりました。

ふつころフェスティバルは松
本市のショッピングモールを主
会場として市街の各所にイベン
トブースを設け、福祉に関わる
様々なプレゼンテーションを行
うというものです。これまでの
県身障協の大会とは異なり「お
祭り」というイメージが濃くな
りました。各地の身障協も自由
参加となり事実上県大会は消滅
してしまつたという印象です。
このような形での開催は賛否
が分かれるところですが、時代
の流れを感じます。

人権啓発担当者 研修会に参加して

中塩田第二支部 小林 睦子

この研修会に初めて参加させ
ていただき、改めて人権につい
て考える事ができました。

今年のテーマは「思い込みか
ら思いつきへ」です。

会場は文化会館。大ホールで
参加者全員でビデオ鑑賞。人権
のヒントと題していくつかの事
例とその解決方法の持つていき
方が紹介されました。

例えば、サラリーマンの夫が
専業主婦の妻への自分の優位が
当然という態度↓休日に留守

番の夫が突然の雨でせんたく物
を取り込むはめに。そこで妻の
ありがたみを感じ自分を振り
返っていく。

アパートで子供の飛びはね廻
る音がうるさいと言う人。自分
では気づかずフトンをたたき、
ほこりをまきあげている↓ぎ
くしゃくした兩人だが、偶然乗

り合わせたエレベータ内での目
礼がきっかけで、次には軽い揆
撈とお義理の笑顔が出た

何気なく過ぎていた毎日です
が、自分の気持ちの持ち方次第
で(あまり深く考えない)すつ
きりした日々が送れそうだと感
じました。

『障がい者の自立生活支援』

上小圏域基幹相談支援センター

所長 橋 詰 正

障がい者の自立生活を考える上では、ノーマライゼー
ションの普及と障害者権利条約により、制度も自立という
考え方に大きく変化してきています。

過去には、自立とは障がい者自らがひとり社会生活が
できる事のように思われていた時代もありました。自立生
活には、障がい者が主体的に様々な援助やサービスを受け
ながら、自分らしく生きる権利が当たり前に認められるた
めには社会の変革が必要です。

令和4年の障害者総合支援法の改正においても、障がい
者本人の意思決定支援のあり方に関する今後の取り組みが
大きく取り入れられてきています。

これは、障がい者の主体性が尊重され、誰とどこで暮らし
たいのか、またどのような社会活動や参加をしたいのかと
いった意向を受けながら、望まれる生活へと伴走する支援

者の存在が重要になってきます。

自立生活の応援という視点において、身体的なハンディを抱えられ
た方であれば、日常生活の介助も必要でしょうし、働く職場において
の就労支援や合理的配慮が、経済的な自立へとつながっていきます。

また、社会参加や活動といった側面では、地域の理解や交流、障がい
者同士の仲間作りや育ちの応援としての教育や保育の現場においても
様々な取組があつて、その生活は望まれた生活へとつながっていくと
感じています。

私たちの地域も、様々なサービスの基盤整備や施策の検討、また、地
域の障がい者理解の浸透をより進めなければなりません。一方、進め
られるべき体制整備に関しては、少子高齢化に伴う人材不足も大きな
今後の課題とされている現実にも目をむける必要があります。大切な
サービス基盤を地域全体で捉えた地域作りをこれまで以上に整えるこ
とが必要です。

地域共生社会の実現に向けた議論は多く語られる時代になりました
が、具体的な地域社会づくりは、まだ始まつたばかりです。未来に向け
て一歩ずつ、議論と実践を積み上げていく必要があります。

Eye

上田女性史の発刊

浦里支部

鈴木 智恵子

最近とてもうれし
い出来ごとがありました。

上田女性史研究会からA4判
一四〇頁の冊子が発刊されまし
た。

『地域と共に』

いきいきと歩む

上田の女性たち

—男女共同参画への道—

戦後の荒廃した中、社会変革
の著しい時代を遅く生きた先
輩たちの足跡を追い、今に道を
拓いてくれた先人たちに心から
ありがとうと感謝したいと思
います。公民館に有ると思いま
すので皆さんも読んでみていた
ければと思います。

冒頭にとてもうれしい出来ご
とと書きましたが、実は半世紀
以上も前のことになりました。当
時公民館活動が盛んで、生活環
境問題と市民運動・暮らしの安全
安心を求めての中に「川西健康
を守る会」の活動が紹介されま
した。その頃の川の汚染や有害食
品などについて勉強し、石けん
運動や赤色ウインナを添加物な
しにしてもらうよう信州ハムに
お願いしに行ったりと一生懸命
だった当時を思い出し、とても
うれしい気分になりました。

シリーズ 上田の散歩みち 4

「赤松小三郎」

神科第二支部 中曾根 孝一

赤松小三郎は洋式兵学者、また、議会政治の先唱者として知られている。上田藩士芦田勤兵衛の二男として天保元年(1831)に生まれ安政元年(1854)に同藩士赤松弘の養嗣子となった。通称は初め清次郎で、後に小三郎と改めた。嘉永元年(1848)18歳(数え年、以下同じ)の時森田斐雄(あやお)とともに江戸へ出て幕臣内田弥太郎の門下に入り、数学・測量・天文・暦学・蘭学等を学び、同5年(1852)には、やはり幕臣の下曾根弥信教にも入門、蘭学・西洋砲術などの教えを受けた。この時の事情は推測ではあるが、櫻井純蔵の弟である森田斐雄が兄の薦めで江戸に遊学する事になったので友人である赤松小三郎を誘い斐雄の兄である純蔵がすべての手配をしたものと考えるのが自然であろう。小三郎は下級藩士であり江戸に人脈があるはずもなく前に江戸遊学を経験し、薩摩藩士及び長州藩士とも深く交流があり当時の社会情勢等に精通していた櫻井純蔵の関わりがなければとうてい遊学は成功に及ばなかったであろう。(つづく)

話まやの会

ぼっち結構

上等だ

ペンネーム 松尾 河童

お嫁に行けぬ、分かっちゃいるんだよ

妹よ。いつかお前の喜ぶような偉い兄貴になりたくて……と

歌い出す映画。渥美清主演の男はつらいよシリーズだ。肩に背

広を引つ掛け、腹巻き丸見え雪駄履きの、ご存知葛飾柴又の車

寅次郎。日本全国失恋旅のドラマだ。肩で風切って歩く姿は

堂々としているようだが片想いで独りぼっちの淋しさわびしさ

が後ろ姿からにじみ出てしまう。奮闘努力の甲斐もなく 今

日も涙の陽が落ちる陽が落ちると歌は続く。顔で笑って腹

で泣く。天が泣いたら雨になる。山が泣いたら川になる。な

んて歌詞も出てくる。それでも、「フーテンの寅とはっします。」

と啖呵を切る寅さんだ。香具師としての口上はすこぶる明るい

。さあ買って買って、買って帰るいなお姐さん。蟻がとうさん蛙

がかあさん。あたしやお江戸の梅で鳴く。ホッホッホケキョ

ホーホケキョ。なんて底抜けに明るく調子がいい、威勢がいい

そしてちよつと乱暴だ。通行人も思わず立ち止まってしまふことになる。

「ふざけんじやないよ、このろくでなし爺が。六で梨なら七では西瓜。八つ九つ柿、橙。花が咲いたら実がなる道理。さあもつてけ泥棒。」と絶好調だ。

そう言えば、寅さんがフラーリと帰ってくる「とら屋」さん。

そのオイチちゃんオバちゃんもなかなか味がある。

「そんな馬鹿ナ 馬鹿と鉄は使いよう。使えないのはあたいの亭主、馬と鹿とに跨つて、大の字を書く大馬鹿者よ」

「そういうお前は女房じゃないか、馬鹿に惚れたか惚れられたのか、ハアこりや呑気だネエ呑気だネエ」

味があるのは とら屋の隣り、町工場のタコ社長もだ。帝釈天

を祀るお寺の和尚さんも、ひょうひょうとして存在感たっぷり

だし、寅さんを兄貴と慕うゲンちゃんだつて、個性豊かな風貌

で柴又通りを駆け抜ける。寅さん映画が長い年月愛されてきたのは「ぼっちで結構 独

りぼっち頑張れ」という強い思いが法師作りの根っこにすわっていたからかも知れない。

文芸らん

川柳

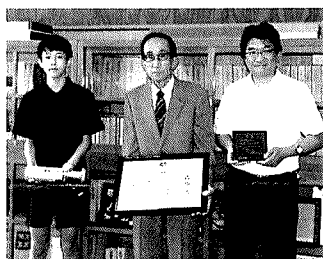
金井 真田丸(東御市)

ご褒美は温めの風呂と爛がいい 百目指し酒はほんのり腹八分

防犯カメラ寄贈

吾妻 博夫

あいそめの湯の自販機更新に当たり、どのメーカーにするか、種々検討をしました。その中で「防犯カメラを活用した社会貢献事業」に取り組んでいるダイドードリンコ(株)の活動に協会も賛同し、この自販機を設置しました。そしてダイドードリンコ(株)様の協賛を頂き、上田の東塩田小学校に防犯カメラ一基を、9月25日に寄贈しました。カメラは児童昇降口の外壁に設置し、映像は職員室のモニターで確認する事が出来ます。北沢校長は「カメラは夏休み前に設置されたのはそこで遊ぶ子供たちだった。このままみんなの笑顔が防犯カメラに写っていくと幸せ。しかし何かあった際に十分に



は十分に

編集後記

活用させて頂き子供の安全を守っていききたい」と感謝されておられました。未来ある児童の安全、防犯に寄与できることを願いながら学校を後にしました。※写真は東信ジャーナル(23・10・4)より提供していただきました。

令和6年の新年を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。 昨年は、コロナ騒動も下火になり、やっと安堵しましたが、新たにインフルエンザが流行りはじめ、それに追い打ちをかけるようにガソリン価格の高騰、異常気象による農産物の不作など新たな不安に振り回された1年でした。

この84号発行にあたって、取材・原稿執筆・写真の提供などでご協力をしてくださった皆様誠にありがとうございました。(横沢記)

会員消息(おくやみ)

生前の協会へのご協力に

感謝申し上げます

ご冥福をお祈り申し上げます

- 西部支部 渋谷 俊夫 様
- 馬場 貞一 様
- 川辺支部 中村 好勝 様
- 神科第一支部 南平 壽子 様
- その他支部(真田) 三井 袈裟美 様

(2023年7月8日~11月30日受理迄)